

# エコアクション 21

## 環境活動レポート



対象期間 2019年9月～2020年8月

株式会社 W I N G

代表取締役 高橋 福巳

2020年12月21日

## 目 次

1、 環境方針	P2
2、 事業活動概要	P3
(1) 事業者社名及び、代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業規模	
(6) 認証登録範囲	
(7) EA21 実施体制	
(8) 役割と権限	
3、 環境目標	P6
4、 2019 年度 活動計画	P7
2019 年 9 月～2020 年 8 月の活動計画	
1, 温室効果ガス排出量の削減	
2, 不良率の削減	
3, 水資源投入量の削減	
4, 廃棄物最終処分量の削減	
5, 地域環境	
5、 環境活動の取組結果と評価	P7
(1) 2019 年 9 月～2020 年 8 月の取組結果	
(2) 取組・評価	P8
1, 温室効果ガス排出量の削減	
2, 不良率の削減	
3, 水資源投入量の削減	
4, 廃棄物最終処分量の削減	
5, 地域環境	
6, 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	
(1) 環境管理責任者による取組の総合評価	P14
6、 来期（2020 年度）取組内容	P15
7、 代表者による全体評価と見直しの結果	P16

## 1、環境方針



# 環境方針

作成2007年11月 1日  
改訂2009年12月10日1版  
改訂2012年 4月 2日2版  
改訂2018年 9月 1日3版

株式会社WINGは限りなく進化を遂げる最先端技術の開発と成長を促すため、高度化する顧客の要求を満足させる「ものづくり」で社会に貢献する企業を目指しています。その過程において、使用されるエネルギーを管理する「環境経営システム」を構築し、全従業員が管理者となり省エネルギー活動を展開することで美しい自然環境と豊かで安全な生活環境を次世代へ引き継ぐことを誓約します。

## 環境行動方針

1. 総エネルギー投入量・温室効果ガス排出量の削減の為、消費電力を管理し抑制に努めます。
2. 顧客からの多様化する要求を満足させる為、高品質な生産体制の構築を目指し、不良率の削減に努める。
3. 事業活動に関連する法規制は確実に遵守する事を誓約いたします。
4. 取り組みはエコアクション21ガイドラインに従い運営することを、全従業員及び社会に約束し、活動結果は毎年公開いたします。

# 株式会社 WING

代表取締役 高橋 福巳

## 2、事業活動概要

- (1) 事業者名及び、代表者名  
**株式会社 WING**  
 代表取締役 高橋 福巳
- (2) 所在地  
 岩手県北上市二子町秋子沢 118 番地 8  
 電話 0197 (81) 6056  
 F A X 0197 (66) 7015
- (3) 環境管理責任者及び連絡先  
 責任者： 製造三課 課長 高橋 博  
 連絡先： 電話・F A X 所在地と同じ
- (4) 事業内容  
 半導体製造装置・液晶製造装置・医療機器等の、樹脂製品・部品の製造。
- (5) 事業規模

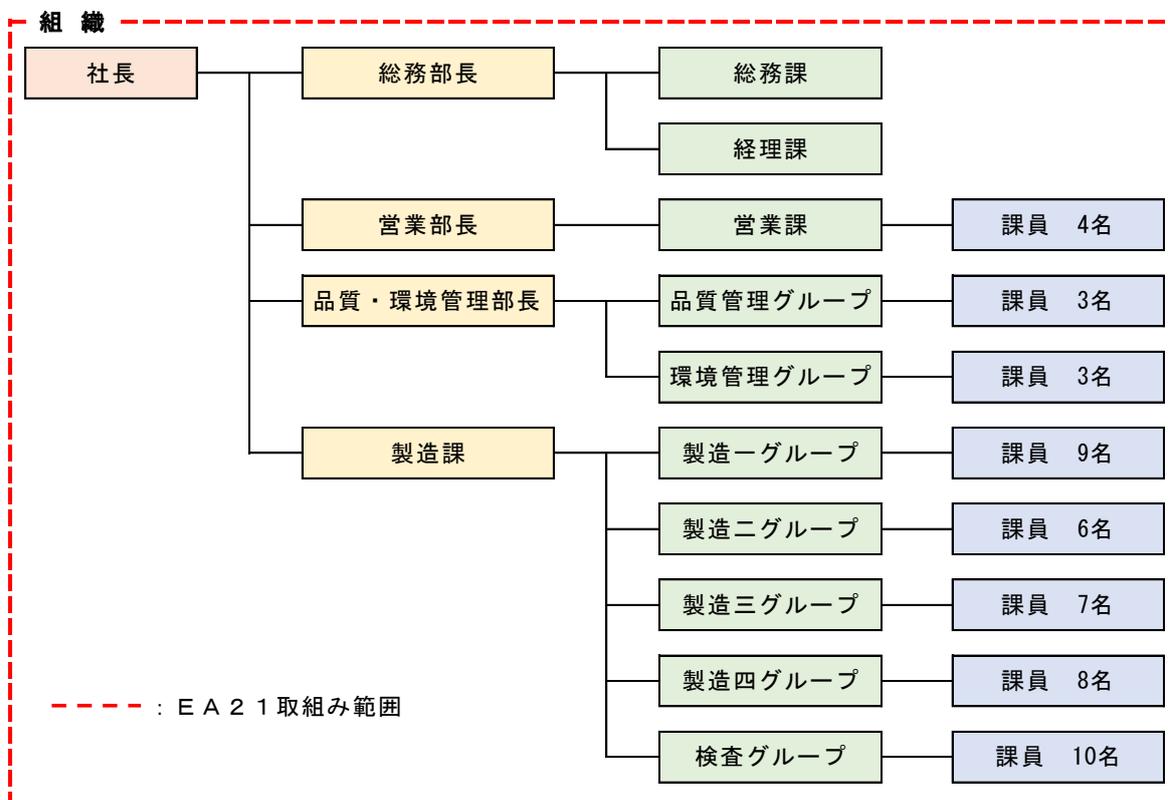
規 模	単 位	2017年9月 ～18年8月	2018年9月 ～19年8月	2019年9月 ～20年8月
売上高	百万円	641	543	569
従業員	人 ※1)	43 (8月末)	43 (8月末)	49 (8月末)
床面積	m <sup>2</sup>	1673	1673	1673

※1) 派遣社員含む

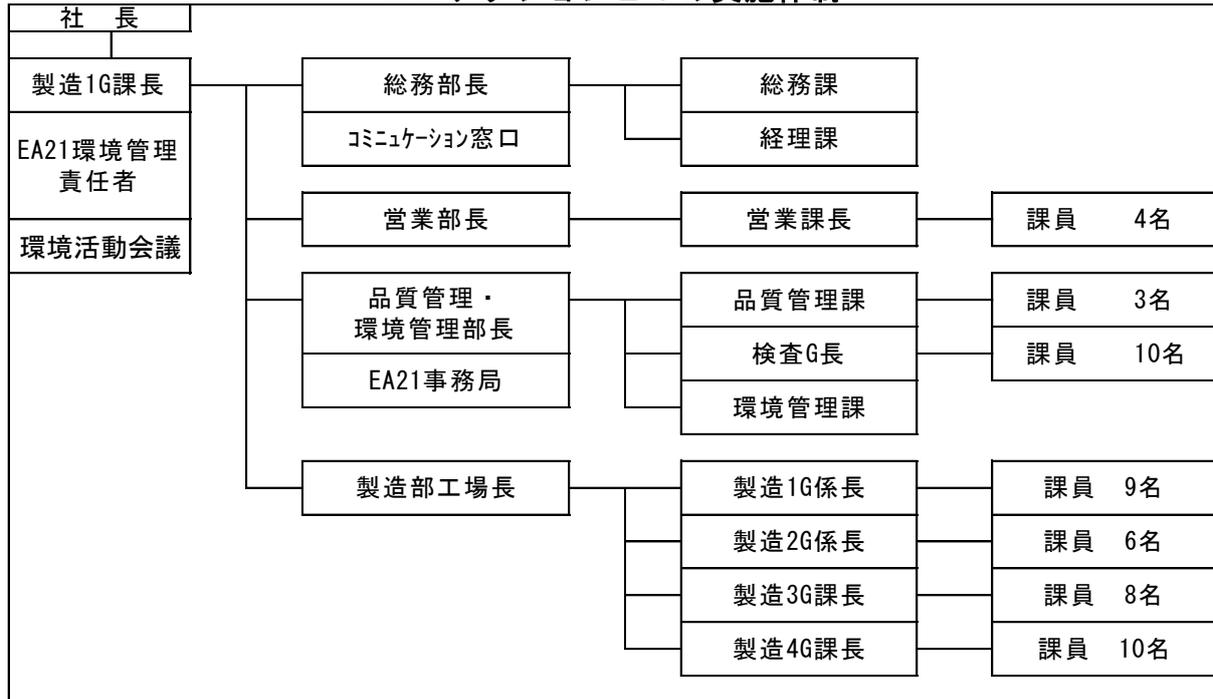
- (6) 認証登録範囲
- ・登録組織名 株式会社 WING
  - ・事業所 株式会社 WING 本社工場
  - ・事業活動 半導体製造装置・液晶製造装置・医療機器等の樹脂製品・部品の製造。
  - ・対象範囲 全社・全組織・全活動

- (7) エコアクション 21 実施体制 組織図

株式会社WING組織図



## エコアクション21の実施体制



### (8) 役割と責任・権限

役 割	担 当 者	責 任 ・ 権 限
代表者	社 長	① 環境方針の策定
		② 環境管理責任者を任命する。
		③ 環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しを行う。
		④ 取組に対する資源を用意する
環境管理責任者	製造1グループ課長	① 代表者に代わってシステムを構築し、運用する。
		① 代表者に結果を報告する。
事務局	環境管理グループリーダー	① 必要に応じデータの収集及び、集計を行う。 ② 各種文書・報告書の作成。
部門責任者	環境活動計画による	部門内において、
		① 省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。
		② 必要な教育訓練を計画し実施する。
		③ EA21 目標達成の取組の推進とチェックを行い、環境管理責任者の了承の下、必要な是正処置・改善を行う。
④ 公害防止、緊急事態への予防処置を行う。		
コミュニケーション窓口	総務部長	① 地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。
		② 苦情への対策・予防処置策定を行い、代表者の承認を受け関係者に実施を指示し、経過・結果の報告を受け改善・定着を図る。
課 員		① 部門責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。
		② EA21 取組に関する教育訓練を受ける。
		③ 自主的に会社の推奨する地域の自然保護活動に参加する。
		④ 改善提案を行う。

### 3、環境目標

#### 中期目標

		基準値	2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標
温室効果 ガス排出量 削減	社内売上げあたりの消費電力量 (kwh/社内売上げ1万円)	10kw以下/ 社内売上げ 1万円	基準値以下を維持		
不良率 削減	社内不良発生率 (社内不良件数/検査件数)	7,000ppm	基準値以下を維持		
水資源 投入量	上水道使用量(m <sup>3</sup> )	節水活動を継続し、数値管理とする			
廃棄物 排出量	最終処分される廃棄物重量(t)	ゴミ分別活動を継続し、数値管理とする。			
地域貢献 活動	会社周辺の清掃活動	年2回、社員の8割以上参加を継続			
	地域住民等からの苦情の有無	苦情0件を維持			

### 4、2019年度 活動計画

#### 1, 温室効果ガス排出量の削減

##### 【活動目標】

使用電力の削減

社内売上げ1万円あたりの電力消費量 10kw以下

##### 【活動内容】

- ・ エアコンの温度管理（各区域担当者）
- ・ エアコンのフィルター清掃（月1回）
- ・ 未使用時の電源 OFF

#### 2, 不良率の削減

##### 【活動目標】

社内不良の削減

不良率 7,000ppm (0.7%) 以下

##### 【活動内容】

不良削減（工場）

- ・ 不良報告会であげられた内容をフィードバックする
- ・ 赤伝・白伝のフィードバック

指示ミスによる不良の削減（事務所）

- ・ 見積図面と手配図面の見比べを行う

### 3 水資源投入量の削減

#### 【活動の目標】

上水使用量は大半が生活用水であるため使用量を数値管理するに留め、節水を励行する

#### 【活動の内容】

- ・水道が出しっ放しになっていないか確認
- ・漏水検査をリスト通り実施

### 4, 廃棄物最終処分量の削減

#### 【活動の目標】

廃棄物排出量は数値管理とし、廃棄物の分別を徹底する

#### 【活動の内容】

- ・一般ゴミ・リサイクル材の分別がなされているか確認
- ・分別方法、分別間違い等の指導
- ・紙ごみを分別しリサイクル（シュレッダー）する

### 5, 地域環境

#### 【活動の内容】

- ・年2回工場敷地内及び周辺の清掃活動。参加率目標 80%以上。
  - 1回目 11～12月 敷地内・周辺のゴミ拾いと側溝掃除。
  - 2回目 4～5月 敷地内・周辺のゴミ拾いと側溝掃除。
- ・地域住民からの苦情「0」の継続。

## 5、環境活動の取組結果と評価

### (1) 2019年9月～2020年8月の取組結果

項目	2019年度実績	目標	目標達成率(%)
社内売り上げ(万円)	42396.49		
消費電力(kwh)	391,774		
電力によるCO2排出量(kg)※1	218,641		
CO2総排出量(kg)※2	225,417		
社内売上げ1万円あたりの消費電力量(kw/社内売上げ1万円)	9.53	10.0以下	104.9
社内売上げ1万円あたりのCO2排出量(kg)	5.02	5.23以下	
不良削減(ppm)	3,934	7,000	177.9
上水(m <sup>3</sup> )	380	目標値を定めず数値管理とする	
廃棄物排出量(t)	36.36	目標値を定めず数値管理とする	
地域貢献活動	清掃活動 2回/年	2回/年	100
	苦情報告 0件	0件	100

※1 東北電力 2017年度CO2調整後排出係数0.532kg-CO2/kWhより算出  
伊藤忠エネクス(株) 2017年度CO2調整後排出係数0.566kg-CO2/kWhより算出

※2 電力消費によるCO2排出量+各種化石燃料消費によるCO2排出量

### (2) 2019年度における事業所内の変更等

#### ・乾燥機の排熱筒工事

電気式乾燥機の排熱筒を切り替え式とした。これにより夏場には熱を屋外に逃がし冬場は屋内に熱を導入して空調に利用する。



## 切り替え式排熱筒

### 評価：

2019 年度は昨年に引き続き社内売り上げ 1 万円当たりの電力消費量を原単位として活動を実施した。傾向として社内売り上げが多い月には電力消費量も増加するものの、社内売り上げが落ち込んだ場合に電力消費量が下がるわけではなく、結果として社内売り上げあたりの消費電力は目標の 10kwh/万円を超過してしまう月が 4 ヶ月あった。特に新型コロナウイルス感染症の流行による社会情勢の変化が顕著になる下半期の影響が大きく、来期にも持ち越すことが予想される。ただしそれ以外の目標を超えない月との平均により通年で 9.53kwh/万円に抑えることが出来た。

2020 年度も引き続き同じ目標値で活動を続けていくが、前述の新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが予想される。主な客先である半導体製造装置市場の状況改善はアナウンスされるものの、感染症の流行に関しては展望が見通せず、状況によっては中期目標も含めて目標値の下方修正を検討する。

## (2) 取組・評価

### 1, 温室効果ガス排出量の削減

#### 【活動目標】

使用電力の削減

社内売り上げ1万円あたりの電力消費量 10kw 以下

		社内売上（万円）	使用電力（kwh）	社内売上額1万円 当たりの消費電力 （kwh）
2019	9月	3,849	31,033	9.06
	10月	2,730	26,288	9.63
	11月	2,703	36,756	13.60
	12月	3,564	31,317	8.79
2020	1月	4,297	46,479	10.82
	2月	4,591	39,215	8.54
	3月	4,508	27,629	6.13
	4月	3,776	32,867	8.71
	5月	3,197	32,510	10.17
	6月	3,726	30,957	8.31
	7月	2,758	30,979	11.23
	8月	2,696	28,003	10.38
	合計	42,396	394,033	
	平均	3,533	32,836	9.53

#### 評価：

2019年度上期は半導体メモリー関係の投資に一服感があり、半導体の売上比率が多い弊社にとって不透明感が強いスタートとなった。10月は売上が低迷したが、気候的にエアコンの可動率が少なく、使用電力が低く抑えられた。11月は売上が少ないが気温の低下に伴いエアコン稼働率が上がるため、売り上げに対する消費電力が上がった。

12月からは、ロジック向け半導体の設備投資が動き売上が上がった。1月は厳寒期なので1日中エアコンを使用するので電力消費が増えるが、12月と2月に比べ1月だけ使用電力が多いのが気になった。エアコンの消し忘れなど確認できるように、温度取りを設置しているが特に大きな問題はなかった。（気温低下による影響だと思われる）

2月頃から新型コロナウイルスによる売上低下も予測されたが、6月頃まではその影響は少なく、1万円当たりの消費電力の数値の貯金できた。7～8月に新型コロナウイルスの影響による売上の落ち込みが出て、売り上げに対する消費電力が上がった。今年の初夏は気温が低くエアコンの使用量は平年より少なかったため、10kwhを少し超えただけの数字で済んだ。

年間の平均では、1万円あたり9.53kwhと何とか目標値をクリアすることが出来た。

2020年度上期は、新型コロナウイルスの影響で売上低迷するが、工場の生産調整を行い電力使用量を押さえる。年が明けて2021年は半導体設備投資額が過去最高になる見通しもあり、弊社で言う下期からは、上期の売上低下分の補填を何処まで回復させることが出来るかが課題となる。

## 2. 不良率の削減

### 【活動目標】

社内不良の削減

不良率 7,000ppm (0.7%) 以下

### 【活動内容】

不良削減（工場）

- ・不良報告会であげられた内容をフィードバックする
- ・赤伝・白伝のフィードバック

指示ミスによる不良の削減（事務所）

- ・見積図面と手配図面の見比べを行う

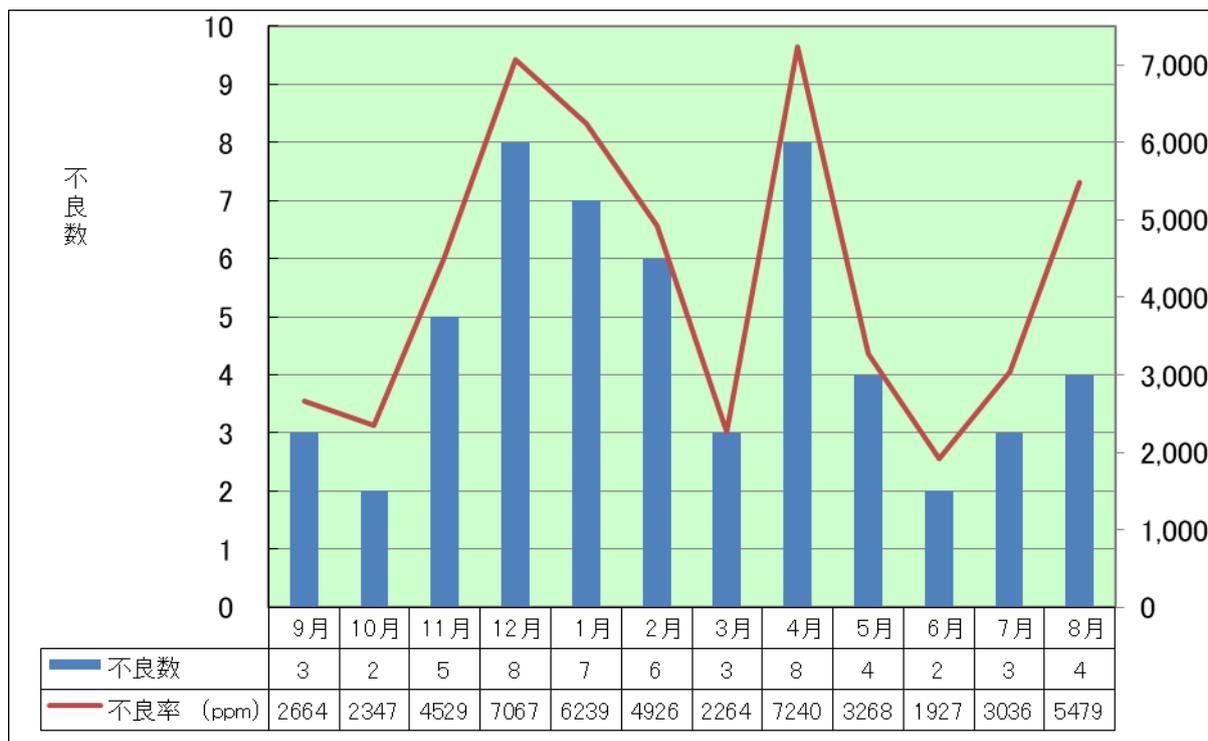
月別不良件数集計表 2019年9月～2020年8月

		社内不良		
		検査数	不良数	不良率 (ppm)
2019	9月	1,126	3	2,664
	10月	852	2	2,347
	11月	1,104	5	4,529
	12月	1,132	8	7,067
2020	1月	1,122	7	6,239
	2月	1,218	2	1,642
	3月	1,325	3	1,325
	4月	1,105	8	7,240
	5月	1,224	4	3,268
	6月	1,038	2	1,927
	7月	988	3	3,036
	8月	730	4	5,479
累計		12,964	51	
月平均		1080.3	4.25	3,934
目標値				7,000

1ppm=1/1,000,000

1%=10,000ppm

年度	社内不良		
	検査数	不良数	不良率
2018年度目標			7,000ppm
2019年度実績	12,964	51	3,934ppm



評価：

目標を達成する事ができました。しかし月毎では12月と4月の2回、目標値を上回ってしまった。不良報告会についてもコロナ感染症対策とし3密を避けるために全員を集めての不良報告会を行う事が出来ない為、報告書の回覧を行っているので内容など再検討しながら活動を続けていきます

### 3. 水資源投入量の削減

#### 総排水量の削減

【目標値は定めず数値管理とする】

取組：

現行活動の継続

- ・蛇口の閉め忘れの確認。
- ・漏水検査リストに従い、製品毎に漏水検査を行い余分な水の使用を抑える。

評価：

昨年度同様、数値管理としている為、節水活動と漏水確認は常に心がけている。

### 5. 廃棄物最終処分量の削減

#### 【活動の目標】

廃棄物排出量は数値管理とし、廃棄物の分別を徹底する

#### 【活動の内容】

- ・一般ゴミ・リサイクル材の分別がなされているか確認
- ・分別方法、分別間違い等の指導
- ・紙ごみを分別しリサイクル（シュレッダー）する

廃棄物排出量 (t)

	一般廃棄物			産業廃棄物			パレット (木屑)
	可燃・廃プラ	資源ごみ	段ボール	廃油水(t)	金属 他	プラ(t)	
2019年9月	0.00	0.030	0.57	0.07	0.00	4.05	0.00
10月	0.09	0.144	0.29	0.00	0.00	2.80	0.00
11月	0.07	0.060	0.47	0.00	0.00	3.28	0.00
12月	0.07	0.043	0.39	0.60	0.00	3.19	0.00
2020年1月	0.04	0.066	0.69	0.00	0.00	2.12	0.00
2月	0.07	0.051	0.67	0.60	0.00	2.38	0.00
3月	0.07	0.050	0.75	0.00	0.00	2.65	0.00
4月	0.07	0.043	0.59	0.45	0.68	2.64	0.00
5月	0.07	0.048	0.59	0.00	0.00	2.82	0.00
6月	0.05	0.052	0.50	0.00	0.80	2.94	0.00
7月	0.10	0.052	0.62	0.00	0.00	3.20	0.00
8月	0.00	0.062	0.32	1.00	0.00	0.00	0.00
合計	0.70	0.701	6.45	2.72	1.48	32.16	0.00
月平均	0.064	0.062	0.54	0.227	0.135	2.92	0.00

リサイクル (kg)

種別	再資源化			焼却熱の再利用 (サーマルリサイクル)	
	資源ごみ	段ボール	金属くず	ポリエチレン (PE)	パレット (木屑)
2019年9月	30	570	0	0	0.00
10月	144	290	0	90	0.00
11月	60	470	0	70	0.00
12月	43	390	0	70	0.00
2020年1月	66	690	0	40	0.00
2月	51	670	0	70	0.00
3月	50	750	0	70	0.00
4月	43	590	680	70	0.00
5月	48	590	0	70	0.00
6月	52	500	0	50	0.00
7月	52	620	800	100	0.00
8月	62	320	0	0	0.00
合計	701	6,450	1,480	700	0.00
月平均	58.4kg	538kg	123.3kg	64kg	0.0kg

評価：

数値管理としている廃棄物排出量はその年度に製作される製品種によってその量も左右されるため、今年度は合計 32.16 t、月平均で 2.92 t となった。ゴミの分別については社員に意識付けが定着していて特に大きな間違い等も無く処理されている。

## 5, 地域環境

### 【活動の内容】

- ・年2回工場敷地内及び周辺の清掃活動。参加率目標 80%以上。  
1回目 11~12月 敷地内・周辺のゴミ拾いと側溝掃除。  
2回目 4~5月 敷地内・周辺のゴミ拾いと側溝掃除。
- ・地域住民からの苦情「0」の継続

1) 2019年11月29日 10:35~11:30 工場敷地、周辺の1回目の清掃を行った。  
: 参加41名 欠席7名 参加率85.4%



2) 2020年4月17日 10:35~11:00 工場敷地、周辺の2回目の清掃活動を行った。  
: 参加44名 欠席5名 参加率89.8%



3) 地域住民からの苦情は無かった。

評価:

今年も年2回の清掃活動参加率目標80%及び地域住民からの苦情0件を達成出来て良かった。  
引き続き活動を継続していきたいと思えます。

## 6, 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物管理票交付等状況報告書 2019年6月30日届出。

### 2) 水質汚濁防止法

共用水域への排水は無い。また、公共下水道への汚染物質の混入は無い。

### 3) 大気汚染防止法

ばい煙、粉塵等の排出は無い。

### 4) フロン排出抑制法

事業所内のエアコンで業者による点検の対象（圧縮機出力7.5kw-50kw）が無いことを確認し、簡易点検と清掃を毎月実施する。

### 3) 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 制度）

工場内で使用される薬品で PRTR 制度に該当する物質（トルエン）があるが、保管量が1kg未満であるため届け出対象にならず。

## (3) 環境管理責任者による取組の総合評価

今期は前期とほとんど変わらない数値で目標達成ができ、結果としてよい取り組みができたのではないかと評価しています。

総合的には目標達成になりましたが、温室効果ガス排出量や不良率を月単位でみてみると、どちらも数回ほど目標をオーバーしていた。その月に何があったのか原因が分かれば今後の課題にもなり改善されていけば、更に良い結果が得られると思う。

その他の水資源投入量の削減、廃棄物最終処分量の削減も数値管理にはしているが、その数値を従業員に理解して頂き、更にエコアクション21環境活動に取り組んで頂きたいと思います。

## 6、来期（2020年度）活動計画

### 1、温室効果ガス排出量の削減

#### 【活動目標】

使用電力の削減

社内売り上げ1万円あたりの電力消費量 10kwh 以下

#### 【活動内容】

- ・ エアコンの温度管理（各区域担当者）
- ・ エアコンのフィルター清掃（月1回）
- ・ 未使用時の電源 OFF

### 2、不良率の削減

#### 【活動目標】

社内不良の削減

不良率 7,000ppm (0.7%) 以下

#### 【活動内容】

不良削減（工場）

- ・ 不良報告会であげられた内容をフィードバックする
- ・ 赤伝・白伝のフィードバック

指示ミスによる不良の削減（事務所）

- ・ 見積図面と手配図面の見比べを行う

### 3 水資源投入量の削減

#### 【活動の目標】

上水使用量は大半が生活用水であるため使用量を数値管理するに留め、節水を励行する

#### 【活動の内容】

- ・ 水道が出しっ放しになっていないか確認
- ・ 漏水検査をリスト通り実施

### 4、 廃棄物最終処分量の削減

#### 【活動の目標】

廃棄物排出量は数値管理とし、廃棄物の分別を徹底する

#### 【活動の内容】

- ・ 一般ゴミ・リサイクル材の分別がなされているか確認
- ・ 分別方法、分別間違い等の指導
- ・ 紙ごみを分別しリサイクル（シュレッダー）する

### 5、 地域環境

#### 【活動の内容】

- ・ 年2回工場敷地内及び周辺の清掃活動。参加率目標 80%以上。
  - 1回目 11~12月 敷地内・周辺のゴミ拾いと側溝掃除。
  - 2回目 4~5月 敷地内・周辺のゴミ拾いと側溝掃除。
- ・ 地域住民からの苦情「0」の継続。

## 7、代表者による全体評価と見直しの結果

今期2019年度第21期の業況は米中・日韓貿易摩擦などの国際問題による半導体設備投資の延期が影響し売上高低迷の状態が始まったが、11月からは5G投資やスマホの生産計画再開等で投資欲が回復し売上高を増進し始めた。しかし2020年2月にコロナウイルス感染症が蔓延し始めてから世界的な経済活動の減退が始まり先行き不透明な状態での経営を強いられた。そのような経済状況ではあったが、社内生産状況への影響はあまり受けることなく推移したため資源を投入し省エネ・生産環境の整備に努めた。1、乾燥設備の排気管工事を実施し約150度の排熱を利用し冬場は工場内に排出し暖房に使用、夏場は外へ排出し冷房の妨げを軽減できるようにした。2、旧型の冷房機を撤去し省エネタイプエアコン2機を設置。3、コロナウイルス対策として換気扇の増設と回路変更による換気の効率化を実施し製造環境を改善。来期は経済状況を見据えながらになるがコンプレッサーの入れ替えを実施する予定。

### 環境活動の取組結果と評価

使用電力の削減は、社内売上高が対前年度比5%増加に対し社内売上1万円当たり消費電力は1%減と微量ながら減少した。資源投入と温度管理が行き届いていることが成果となった。不良率の削減は昨年比で4.5%上昇したが3934ppmと目標を大きく下回っている。不良報告会や品質管理講習の充実を図り更なる不良削減と品質の向上に期待する。数値管理されている水使用量、廃棄物排出量、地域貢献、環境関連法規である化学物質排出把握管理においても継続的な管理を指示します。

”